

経済

コープでんき 新たに県内6カ所から再生エネ調達

.



「コープでんき」の調達先に加わった神戸市垂水下水処理場（コープこうべ提供）



「コープでんき」の調達先に加わった宝塚すみれ発電（コープこうべ提供）

生活協同組合コープこうべ（神戸市東灘区）は、家庭向けに供給している電力「コープでんき」に関し、新たに兵庫県内の六つの発電所から再生可能エネルギーを調達すると発表した。今後も地元発電所からの調達を増やす方針で、「電気の“地産地消”を進める。身近なエネルギーや環境問題に対する組合員の関心を高めたい」としている。

新たに再生可能エネを調達するのは、宝塚すみれ発電（宝塚市）▽神戸市垂水下水処理場（神戸市垂水区）▽兵庫パルプ工業（丹波市） - と、太陽光パネルを設置しているコープこうべのグループ施設3カ所。

これまではコープこうべの17カ所のグループ施設に設置した太

陽光発電と、広島県の製材大手のバイオマス発電所から調達していた。契約者の増加に伴い、再生可能エネが不足する恐れがあったという。組合員の「地元でつくられた電気を使いたい」との要望も考慮し、再生可能エネを保有する県内の発電所を調達先に加えることにした。

同社は昨年4月から、家庭向けの電力の小売り事業を開始。電力の3割が太陽光発電やバイオマスで発電した再生可能エネで、残る7割は大阪ガスからの天然ガスによる火力発電で賄っている。3月末時点の契約件数は約2万5千世帯。（三島大一郎）